

Attunityによる時間、コスト、木の削減を実現した主要委託製造業者



業種: 委託製造業者

拠点: 米国

要件:

- ・ERPシステムデータへのタイムリーなアクセス
- ・効率的なレポート生成
- ・ERPシステムのユーザフレンドリーなインターフェイス

プラットフォーム:

- ・VSAPメインフレーム
- ・Microsoft SQL Server
- ・Microsoft BizTalk

顧客:

- ・Schlumberger
- ・Northrop Grumman
- ・Raytheon Missile Systems

ソリューション: Attunity Stream

利点:

- ・リアルタイムデータへのアクセス
- ・レポートに関するコストと時間の削減
- ・ERPシステムのブラウザの機能による利便性の向上
- ・ERPシステムのリプレイスに関わるコストやリスクの削減
- ・高い応答性、及び高効率な顧客への開発提案

完全且つソリューション指向型の、実績ある主要委託製造業者であるLaBarge Inc.は、電子装置製造業界の主要企業として知られています。LaBargeは以下のことを行っています。

- ・包括的且つ高性能な電子機器の製造、電気機械設備、相互接続システムの Build-to-Print(顧客が詳細設計を行い、構築を企業が行う)またはBuild-to-spec(顧客が仕様を決定し、詳細設計及び構築を企業が担う)。
- ・熟練したエンジニアリング、製品開発及びパッケージング
- ・システム統合 など

LaBargeは信頼性の高いハードウェア、及び軍用機、レーダーシステム、衛星打ち上げロケット、空港セキュリティ設備、ガラス容器製造システム、油田装置などといった、耐久性及び高品質が不可欠とされるクリティカル機能をサポートするシステムを構築します。

課題-ERPのスピードアップ

LaBargeは各種情報への容易なアクセス、及びより分析を必要としていました。企業の企業資源計画(ERP)システムはメインフレーム上で構築されており、20年前にインストールされた白黒の画面で作られたターミナルベースのシステムなのです。

LaBargeの情報システム責任者であるGeorge Hayward氏は次のように述べています。“我々のERPソリューションはDOSベースのシステムにほぼ等しいものです。全く魅力的ではなく率直に言って目を刺激するようなものでした。しかしながらシステムのコアプレインは我々のニーズに合っており、ビジネスに必要な情報を抽出していました。我々の掲げる課題は、ERPソリューションに対し効果的にデータを投入し、そこから効果的な分析を行うことでした。”

そのうち、ERPシステムのインプット及びアウトプットにおいて高い競争力誇ることができなくなってきました。他の競合相手についていくためにLaBargeはシステムの内外のデータをリアルタイムに取得する方法を必要としましたが、リアルタイムデータの取得はLaBarge全体のオペレーションのスローダウンを意味しました。

ERPシステムがビジネスに必要な操作を満たしていたものの、LaBargeはレポート機能やユーザインターフェイス部分を近代化したいと考えようになりました。グリーンスクリーンは見ずらいだけでなく、ナビゲーション機能が不十分だったからです。LaBargeは、ERPのインプットスクリーンをブラウザベースで行うことのできるソリューションを探していました。

LaBargeが必要としたソリューション

- ・ERPシステムデータへのリアルタイムアクセス
- ・ERPシステムの使用性向上
- ・新規ソリューションの導入時のERPの処理断絶を最小限に

“Attunityは群を抜いたマーケットリーダーであり、我々を快適な状況へと導いてくれました。具体的には、Unixサーバで稼働し、ソリューションの価格設定が比較的安価であるといった我々の要件を理解していた唯一の企業でした。Attunityとマイクロソフトの関係や、我々の環境への明確な理解提示はAttunityへ信頼を高めることとなりました。導入の過程全体を通して、Attunityはいつでも我々の要件をサポートしてくれていました。”

George Hayward,
Director of Information Systems,
LaBarge Inc.

主な課題

- ・企業の技術バックボーンは
 - ・ Technical backbone of company is a mainframe, terminal based system that served the business well, but efficiently getting data in and out was the challenge - not having data accessible in real-time was hurting LaBarge competitively
- ・ Limited navigational capabilities - green screens were irritating - literally and figuratively
- ・ Reporting was cumbersome, time consuming and expensive
- ・ Limited analytical capabilities - could not sort data or manipulate it for analysis and reporting

またレポート生成機能についてはLaBargeにとっての弱点でもありました。レポート生成は、大きく且つ高価なプリンターへ大量の紙を排出するものでしたし、処理は高価で時間のかかるものでした。プリントアウトが別の場所、つまり必要とされているところから行われているので、ユーザはレポートを取得する為にまさに1マイルにも及ぶ距離を歩かねばならないような状況でした。最終的にレポートを取得する際、ユーザは必要なデータを見つけるために何百ページにも及ぶデータから探し出さねばなりませんでした。

Hayward氏は次のように説明しています。“こういった状況はAttunityを導入する前の話です。ERPシステムの内外におけるデータ取得は非常に非効率的なものでした。全体のオペレーションを中断することなく、データの入出力機能を向上させる必要がありました” LaBargeがVSAMメインフレームを使っていたので、近代的なレポートングツールの選択肢は限られていました。レポートングと分析の機能を拡張し、木と時間を節約する為に、SQL server上の既存ERPシステムのデータを複製する方法を模索し始めました。

ソリューションー容易なアクセス、容易なナビゲーション

ERPシステムのスピードアップの為に、LaBargeは3つの主要コンポーネントから成る以下のソリューションを使用しています。

- ・ Attunity Stream
- ・ Microsoft BizTalk Server
- ・ Microsoft SQL Server

Attunityのチェンジデータキャプチャ(CDC)ソリューション、Attunity Streamはメインフレーム上での動作が可能で、データフィールドにいつ変更が加えられたかを認識することができます。更に変更されたデータをメインフレームのSQL Serverにデータを移すためにBizTalkを使用しています。Attunityを使って、いまやLaBargeはERPシステムから全てのデータを所有することができるようになりました。Attunity Streamによって以下の機能を劇的に向上させることができましたのです。

・レポート生成機能

データが複製できるようになったので、LaBargeはもはやメインフレーム上でレポートを生成する必要がなくなりました。代わりに現在はSQLサーバ上にレポートが生成されるようになりました。Attunityソリューションはブラウザベースソリューションとシームレスに連携可能なので、フロントエンド上に以前に比べて約200倍の速さである、約60秒程度で直観的に簡単にレポート生成することが可能なのです。

Hayward氏は次のように述べています。“ユーザがメインフレーム上のERPシステムへデータを投入すると、Attunityは変更点を認識し、SQLを稼働させているサーバへデータを運んでくれるのです。Attunityはメインフレーム上でレポートが生成されるのを待つ必要性を排除してくれたので、我々はもはやレポート生成まで3,4時間待ったり、印刷されたレポートを求めて別の場所まで移動する必要がなくなったのです。”

メインフレーム上でレポートを生成するという行為は時間を多く使う処理の一つでしたが、今やAttunityはメインフレームからレポートを生成するという業務を排除し、メインフレーム上で稼働する全ての他のプログラムをスピードアップさせました。その上メインフレームで動く他のタスクが時間通りに終了するようになりました。

“ERPシステムとユーザが通信するあらゆる手段が抜本的に改良されました。私たちは新規ERPシステムを導入したかのような気がしています。Attunityにより、新規ERPシステム導入に関わるコストやシステム停止時間を排除することができました。まさに我々が以前から長い間求めてきたものだったのです。Attunityにより我々は非常に貴重な体験をしました。”

George Hayward,
Director of Information Systems,
LaBarge Inc.

■ お問合せ先

株式会社

ハイ・アベイラビリティ・システムズ

ソリューション &
コンサルティング事業部

〒108-0023

東京都港区芝浦4-13-23
MS芝浦ビル

Tel 03-5730-8870

Fax 03-5730-8619

inquiry_desk@ha-sys.co.jp

<http://sc.ha-sys.co.jp>



・ソートとフィルタ

LaBargeは今やERPシステムのデータに対し、以前はできなかったソートやフィルタを実行することができるようになりました。(例:日付でのソートや郵便番号でのソートなど)AttunityはSQL内にデータを提供するので、フロントエンドスクリーンはユーザ好みのレポートを作成する為のフィルタ機能が使えるようになりました。そしてナビゲーションを使用し、より簡単にブラウザウィンドウへ結果を表示できるようになりました。

認識された利点—LaBarge、顧客両方にとって

LaBargeが提案を求める要求を受け取ると、要求されたタスクにかかる時間とコストを割り出す為にERPシステムのデータを参考にします。迅速なデータアクセスを提供することで、AttunityはLaBargeが他の委託製造業者に対する競争力を保持しながら時機を逃さずに提案を行うことができるようにしました。Attunityの導入前は人件費や在庫水準のような特定の数値を収集するのに1週間から最大1カ月を要していました。システムの不活発さに加え、プロジェクトは長い時間複数の労働者を抱えねばなりませんでした。

今ではAttunityにより、LaBargeは早ければ要求を受けた一日以内に提案準備が整うようになりました。更に労働コストの計算を行うために必要な最新のデータへアクセスすることにより、LaBargeは会社の売り上げや利益率に貢献するより良い契約見積もりを作成することができるようになりました。Attunityによって実現された高い「利便性」により、在庫水準分析を行う人がデータを見る為に多くのスタッフの協力を仰がず必要がなくなりました。在庫機能を理解しているビジネスユーザは直接自分たちでデータを採取することができるからです。現在データはSQL内に存在するのでLaBargeはデータやレポート分析に使用することのできるあらゆる3rdパーティ製品を利用できるようになりました。

Attunityが生み出した最も大きな利益は、大量のコストやクリティカルなオペレーションシステムのリプレイスにおけるリスクを削減しながら既存ERPシステムを使い続けることができた、ということです。新しいERPシステム購入にかかるコストの削減だけでなく、AttunityはERPリプレイス時のシステム停止による予測収益の損失からLaBargeを救うという利点をももたらしたのです。Attunityにより会社全体が依存しているコアなオペレーショナルシステムのリプレイスに伴うリスクを回避することができたのです。

またHayward氏は次のように述べています。“我々は新しいERPが必要だったのではなく、リアルタイムデータアクセスを実現するソリューションが必要だったのです。Attunity Streamは変更されたデータを抽出してくれるのでソフトウェアの寿命を延ばすことができました。我々は顧客の期待通りにビジネスを行うことができるようになりました。

ユーザとしては完全に新しいERPシステムをLaBargeが導入したのだろうと勘違いすることだろう、とLaBargeは予想しています。Attunityは異種システムとの高い適合性を提供します。そして初めて、入札システム、販売システムとERPシステムの3システム間でデータのリンクや共有が可能となることでしょう。

“誰かが通りから立ち去っていったり戻ってきたり、今やERPシステムを通じて容易にナビゲートすることができます。これでAttunityがいかに使用性の高いものかということを知ってもらえると思います。更に、ユーザは新しいフィルタやソート機能によりはるかに高い柔軟性を得ることができたのです。必要とする正確な情報へジャンプし、スクリーン上にすぐに結果を表示させることができるようになりました”

George Hayward